

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 せいかいのかたち2nd		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち一人ひとりに合わせた支援やサポート	保育と療育を2本柱として、保育では生活課題や集団での過ごし方や他児との関りについて、療育では子ども一人ひとりの特性に応じた課題に対して、専門的に支援を行うことで、その子にニーズに応じたサポートをいろいろな角度からアプローチしていけるようにしています。	子どもたち一人ひとりの特性について、職員一人一人がより専門的な知識を得て、実際の関りを通じて対応していくことで、より質の高い支援を提供することができるので、子どもたちと一緒に職員も成長していけるように研修や情報共有を行っていきます。
2	専門職や幅広い分野の職員の配置	言語聴覚士を2名配置し、保育士5年以上の職員も1名配置することで、保育・療育の両面で専門性を活かした支援を提供しています。また、多種多様な経験の職員がそれぞれの経験を活かした上で、意見を出し合い、日々新たな支援を提供できるよう工夫しています。	専門職と保育士が常に情報交換することで、子どもたちの状況の把握や変化を共有することは出来ています。共有した情報をさらに適切に分析し、根拠を持った具体的な対応方法を実践していけるように創意工夫を重ねていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族や保育所、幼稚園などその他地域との交流	保護者会を実施したが、企画から実施までの期間が短く、参加のための日程調整等ができて参加できなかった保護者の方が多くおられた。また、相談体験会や冬祭りなど、外部へ門戸を広げたイベントを開催したが、あまりイメージができていなくて認知されにくく、実際に行った職員も試行錯誤で行っていたので広めることが難しかった。	保護者会は、参加していただいた方々からは「よかった」のお声をいただいたため、今後も計画的に実施し、より多くの方が参加できるようにしていきます。イベントも同様にどんなことを行うのか具体的なイメージができてきたので、HPやブログ、送迎先の保育園・幼稚園や地域の保育園・幼稚園・相談支援事業所・他事業所との連携で周知し、一緒に行うイベントなども企画していきたいと思っています。
2	避難訓練や災害時マニュアル等の周知	定期的な避難訓練の実施の告知や報告、何か起こった際の対応についての周知が不十分。	月ごとの避難訓練内容はブログ等で発信していましたが、事前にわかるように入り口付近へ張り出しや、目的や必要性などわかりやすく示すことで、保護者の方にも意識してもらえるように周知の方法や災害時の対応のお知らせ方法を検討していきます。
3			

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 せかいのかたち2nd

公表日 2026年3月6日

利用児童数 36名(うち兄弟4組のため32世帯に配布)

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	0	0	0	・広くて明るいです。 ・とても良い。	・ありがとうございます。引き続き広くて明るいいい事業所としていただけるように努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0	・いつもキレイで子ども用トイレなど配慮されている。	・ありがとうございます。引き続き、生活空間の快適さを継続していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	0	・毎回モニタリングでもしっかりヒアリングして向き合ってくれる。	・ありがとうございます。今後もモニタリング等、本人ないし保護者さまに対してヒアリングを行い、しっかり向き合っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0	・かなりしっかりしてくれる。	・ありがとうございます。今後も本院のご理解し、保護者さまの話を聞いたうえで客観的にニーズを分析し、しっかりと個別支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	0	0	0	・いつもいろんな支援をしてくださる。	・ありがとうございます。今後も工夫を凝らしいろいろな支援を行ってきたいと思えます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11	3	0	11		・送迎やサービ担当会議など、個々の児童に関しての連携の他に、幼稚園の先生の実習の受け入れも行ってあります。今後もいろいろな形で交流を行っていききたいと思えます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	3		10月に保護者会の中で簡単な研修的なお話や情報提供を行いました。参加が難しかったご家族も多かったため、機会を増やしていきたいと思えます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3	0	7		10月に保護者会、2月にご家族で参加できるイベントを実施しております。回数を重ねてより多くの方に参加していただけるようにしていきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	0	0	無回答2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0	無回答2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	0	無回答2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0	無回答2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	2	無回答2	・各種マニュアルは、事業所入り口付近に設置していますが、周知がされていない方がおられたかもしれません。周知・説明を徹底し手いきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	4	無回答2	・地震などの非常災害の発生に備えた訓練を定期的に行っています。周知をしっかりと行っていきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	2	無回答2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	0	1	無回答2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	無回答2	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	3	0	0	無回答2	・お子さまの状況によって、本人の課題が必ずしも楽しめるものではない状況もあります。本人に寄り添い、楽しめるように工夫して行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	無回答2	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援 せかいのかたち2nd

公表日

2026年3月6日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・生活課題や集団、日々のルーティンについては保育士が、個別の課題の療育については言語聴覚士が中心となり、それぞれが連携して保育と療育の両方の面から必要な支援を提供しています。	・人員配置としては満たしているが、保育と療育を2本柱とし、どちらもの質を高い支援を提供しているためにはもっと人員が必要。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		・第三者による外部評価は行えていないため、検討する必要があります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・法定研修等法人内で研修を行い、必要に応じて現場に即した研修、児発管研修など行っています。	・外部研修や講師の依頼など、もっと幅広い研修の実施の検討。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援の記録については、もれなく記載しており、いつでも閲覧可能である。日々のミーティング等で支援の検証・改善は行っているが、記録を見直しての研修までは出来ていません。	・以前に比べて職員間の相互の意見が活発化してきて、検証・改善に繋がっている状況がみられています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・各関係機関と共有が必要なところは行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		小学校等との連携が行えていないため、移行のための会議など、保護者・相談支援事業所と連携して行っていくことが必要。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	・地域の児童発達支援センターと利用児童を介しての情報共有や、イベントのチラシ配布など積極的に連携を図っています。	・研修やスーパーバイズなどは相談したが、あまり積極的に動いてくれる様子はありませんでした。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・幼稚園の先生の実習の受け入れを実施しています。	・子ども同士の交流などは行えていないので、一緒にイベントをするなど検討していきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・保護者会を実施し、その中で家族向けの研修的な話や情報提供を行っています。	・家族向けの研修や家族支援プログラムの実施を体系化して実施することを検討していきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・相談体験会や冬祭りなど、事業所内だけでなく、地域に開放したイベント等を実施しています。	・実施決定から実施まで期間が短く、十分な宣伝や仁日ができなかったため、年間スケジュールに組み込んで、体系化していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・アレルギー情報は契約時まで確認し、配慮しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全計画を作成し、研修も行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・年に2回身体拘束適正化研修を実施し、定義の話だけでなく、現場での状況や現場職員が感じていることを共有し、検討して対応について振り返る機会としている。		